

第5回「証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会」議事要旨

日 時： 平成30年10月16日（火）午後3時～午後3時40分

場 所： 東京証券会館5階 第1会議室

次 第

1. SDGsミニ番組の提供について
2. その他

議 事

1. SDGsミニ番組の提供について

事務局より、資料1に基づき、SDGsミニ番組「フューチャーランナーズ～17の未来～」の提供について説明が行われた。

○主な意見

- ・費用対効果の問題もあると思うが、できれば関東エリア以外でも放送されるようご対応いただきたい。
- コストの問題はあるが、検討することとしたい。（鈴木座長）
- なお、BSデジタル放送については全国で視聴可能である。（事務局）

- ・例えば証券会社の店舗内で本番組を放映することは可能なのか。
- 各証券会社の店舗で放映していただくことができれば、それはとても素晴らしい取組みとなるため、フジテレビ側と交渉することとしたい。（鈴木座長）

- ・コマーシャル戦略として考えた場合、この時間帯で放送するというのは効果が低いと思われる。コマーシャル戦略として実施するのであれば、お金をかけて一気にやるのが効果的とは思うものの、予算の問題があるためそれも難しい。ただ、先程ご意見があったように、数多くの証券会社の店舗において本番組が放映できるのであれば、本番組の活用範囲が非常に広がり、本番組に係るコストに見合った効果を得られることにも繋がる。よって、まずは本番組の活用方法について検討していただきたい。そうすれば次期の来年1月から3月にかけての番組提供についても賛同を得やすいのではないかと。

- ・50歳以上であればテレビCMの効果はやはり高いし、広く一般に調査を実施してもテレビCMは認知媒体としての効果は高いという結果が出ると思う。一方でウェブ広告に関

しては、本資料では認知媒体としての効果は 40%程度であるものの、我々がアプローチしたいと考える層をターゲティングして掲出することが可能であるため、一般的な広告効果といえ、ウェブ広告の方が有効であると聞いている。テレビCMももちろん良いと思うが、我々が狙っている層にしっかりとアプローチしていくという点で、ウェブを使ったコマーシャル戦略についても将来検討してみるとよいのではないかと。

- ・いまお話があったように、例えば若者層に対してはウェブコンテンツが非常に重要であり、その点を考慮したアプローチ方法を考えていく必要はあると思う。一方で、私が聞いた話によれば、NPO法人や環境団体などで環境問題に対する活動をされている方は、証券会社が環境改善に貢献するような金融商品を扱っているということに興味を示してもらえることがあると伺っている。本番組についても、環境問題やSDGsに関心が高い方が視聴されると思われる中で、そういった方々に証券会社がアプローチしていくことができれば、より投資に対する理解の促進が期待できるため、引き続き本番組を提供していく意味はあると思っている。

2. その他

事務局より、資料2に基づき、SDGs推進に向けた施策の実施状況等について説明が行われた。

以 上

本件に関するお問い合わせ先：SDGs推進室（03-6665-6783） 本議事要旨は暫定版であり、今後内容が一部変更される可能性があります。
